

神奈川県立二俣川看護福祉高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	二俣川看護福祉高校 学校運営協議会（第1回）	
開催日時	令和2年6月19日（金）午後3時00分～4時30分	
開催場所	二俣川看護福祉高校 会議室	
（役職名） 出席者 〔敬称略〕	（会長） 倉田寛（校長） （副会長） 成田洋子（PTA会長） （委員） 石原美和（公立大学法人神奈川県立保健福祉大学 実践教育センター・センター長） 長岡美穂（県立よこはま看護専門学校 校長） 引地孝一（神奈川新聞厚生文化事業団 監事） 柏木正美（日本赤十字社神奈川県支部事業部長） 松藤朋治（横浜市立中尾小学校 校長） （事務局） 向井香保利（副校長） 高木利也（教頭） 藤井裕（総括教諭） 前田一穂（総括教諭） 玉木尚史（総括教諭） 宮台忠（総括教諭） 鈴木翠（教諭） 石井由美子（教諭）	
次回開催予定日	令和2年10月9日（金）	
問合せ先	二俣川看護福祉高校 向井香保利（副校長） 電話番号 045-391-6165（代表） ファックス番号 045-361-9777	
下欄に掲載するもの	議事録	
審議(会議)経過	1 校長あいさつ 2 学校運営協議会委員紹介 3 コミュニティスクールについて（校長より） 4 「令和元年度学校評価報告書（実施結果）」 「令和2年度学校評価報告書（目標設定）」について（承認） 5 質疑応答・意見交換 ・進学状況の中で、指定校の学校数が減っているとの報告がありましたが、どのような状況、原因がありますか。 →現在調査中です。 ・進学した後の勉強し続ける力が心配です。高校生全体の基礎学力の定着について本校ではどうでしょうか。 →学校の授業と進学後の学びについてつながりが薄いと感じます。本校の生徒はまじめにコツコツと学習に取り組むが、もう少し、先を見通した学びにつながるように指導していきたい。 ・2022年実施の新学習指導要領に向けて、タブレットの導入などがされているとの報告がありましたが、タブレットの反復学習は、行えるのでしょうか。 →本校におけるICTの活用については、様々な方法があるなか	

	<p>らこれから具体化していくというところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をしっかりする、トイレがきれいであることは大切です。本校も、挨拶をしっかりする生徒が多くいると感じます。そういった良い部分を伸ばして行って、続けていってもらいたいです。継続することは大切です。 ・物事は一度で終わりではありません。コロナの影響も一度ではおさまりません。そのため、日常の流れを行動日誌として記録していくことが大切だと考えます。生徒にも行動日誌を記録することをお願いしたい。 ・免疫力を低下させる要因には、ストレス・不安・怒りがあると言われています。特に不安は生徒が感じていることが多いと思います。先生方にはどんなサポートができるか考えていただきたい。 ・コロナウィルスには3つの顔があると言われています。「ウィルス」「不安」「差別」これらをしっかり理解し、生徒に伝えていってほしいです。 ・学習指導要領改定の中で、どのように学ぶかの視点が大切になっています。総則には、持続可能な社会の作り手に。SDGsに向けてといった内容もあります。担い手作りは今後、大事になるのではないのでしょうか。主体的で対話的な深い学びに繋がるように、スキルだけではなく、マインドが続くような人材育成をしていただきたい。そして、一方通行的なスキルと知識の蓄積だけになるようではダメであると考えます。
<p>会 議 資 料</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① 「コミュニティ・スクール関連資料」 ② 「二俣川看護福祉高等学校の年間計画」 ③ 学校要覧より <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育計画（令和2年度～令和5年度） ・令和元年度学校評価（実施結果） ・令和2年度学校評価（目標設定） ④ 「生徒による授業評価」 ⑤ 「授業のルール」 ⑥ 令和2年度 看護科・福祉科 実習一覧 ⑦ 「学校いじめ防止基本方針」「いじめ防止等対策マニュアル」 ⑧ 進路の手引 ⑨ 54回生進路状況<看護科>54回生進路状況<福祉科> ⑩ 令和元年度地域貢献活動実施報告書、令和2年度地域貢献活動実施計画書 ⑪ 防災関係資料 ⑫ 令和2年度不祥事ゼロプログラム